

養命酒製造株式会社

第94期 中間株主通信

(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

目次

株主の皆様へ…………… 1

生活者の豊かな健康生活への
さらなる貢献を目指して

トピックス…………… 5

財務ハイライト…………… 7

財務諸表…………… 8

会社概要…………… 9

株式情報…………… 11



Yomeishu

証券コード：2540



Yomeishu

経営理念

生活者の信頼に応え、
豊かな健康生活に
貢献する

第94期の取組み

「養命酒」をはじめ、
前中期経営計画において基盤を構築した
「ハーブの恵み」、「くらすわ」等の
商品及び事業に経営資源を集中することとし、
収益基盤の維持、確保に
重点的に取り組んでまいります。



株主の皆様へ

生活者の豊かな健康生活への
さらなる貢献を目指して



代表取締役社長

塩澤 太郎

平素より格別のご高配を賜わり誠に
ありがとうございます。

平成23年12月



上半期（平成23年4月1日～平成23年9月30日）の取組み、業績について

【経営環境】

上半期におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から一部に持ち直しの動きが見られたものの、電力供給不足など原子力発電所の事故による影響が長期化し、欧州債務問題や円高・株安の進行もあり、厳しい雇用情勢や個人消費の低迷等、先行き不透明な状況が続いております。

当社の関連業界におきましても、業種・業態を越えた企業間競争の激化や流通における再編、生活防衛意識の高まりによる生活者の節約志向が続く厳しい状況で推移いたしました。

【当社の取組み】

このような状況の中で、当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、当期につきましては、

- ①「養命酒」をはじめ、前中期経営計画において基盤を構築した「ハーブの恵み」、「くらすわ」等の商品及び事業に経営資源を集中することとし、収益基盤の維持、確保に重点的に取り組みました。
- ②新規事業領域の拡大と成長性の確保や養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築を主要戦略とする新たな中期経営計画につきましては、「持続的成長に向けた事業構造の変革」を基本方針とし、その諸施策の再検討と準備に取り組みました。

【当社の実績】

以上の結果、売上高は5,537百万円（前年同期比4.2%減）となりました。利益面では、「養命酒」と他の商品との広告費バランスを意識した計画的な販売促進活動の実施、諸経費の節減等を行い、営業利益は721百万円（前年同期比531.1%増）、経常利益は855百万円（前年同期比241.3%増）と新商品・新事業の基盤構築のために必要な費用を積極的に投入した前年同期と比較し増益となりました。また、四半期純利益は減損処理による投資有価証券評価損を計上し368百万円（前年同期比131.0%増）となりました。

養命酒関連事業

養命酒関連事業につきましては、従来のチャネル別担当制からエリア別担当制へ変更し、営業活動の効率化に取り組むとともに、「養命酒」と他の商品との広告費バランスを意識した計画的な販売促進活動に努めました。

主力商品「養命酒」

テレビスポット広告や雑誌、新聞、ウェブ等の各種媒体の役割や訴求対象を明確にし、効率的な広告の実施や、広告と連動した店頭における販売促進活動を展開いたしました。

東洋医学の考え方をもとに「7の倍数8の倍数」の節目となる年齢における養生をテーマとしたテレビスポット広告を実施し、主力購買層を対象とした雑誌、新聞をはじめとした印刷媒体やウェブ等により「養命酒」の商品理解の向上に努めました。



「養命酒」7の倍数、8の倍数
テレビCM



「養命酒」7の倍数、8の倍数
雑誌広告

「養命酒」及び「ハーブプラスHerb+」の
販売促進ツール

「ハーブプラスHerb+」

当社の生薬に関する知見と大正製薬株式会社のドリンク剤の開発力とを合わせ、平成21年9月より一部地域において先行販売をしてまいりましたミニドリンク剤「リオン」につきましては、パッケージをリニューアルし、商品名を「ハーブプラスHerb+」として本年9月から発売し、「養命酒」と合わせた効果的な店頭販売促進活動に着手しました。

海外

原子力発電所の事故による風評被害の影響が懸念される中、既存の東南アジア諸国を中心として各国の市場環境に即したマーケティング活動の展開に取り組み、効率的な販売促進活動を実施するとともに、「養命酒」の理解と知名度の向上に努めました。

「ハーブの恵み」

取扱店舗数の拡大に向けた店頭活動や試飲会、棚割提案による配荷促進に努めるとともに、各種イベントへの出展やキャンペーンの実施、大都市圏・戦略エリアに集中したテレビ、ラジオ、交通広告等によるプロモーションを実施いたしました。

以上の結果、「養命酒」の売上に「ハーブの恵み」、「家醸本みりん」、「ミネラルウォーター」、インターネット通信販売サイト「養命酒本舗」等の売上が合算いたしまして、養命酒関連事業の売上高は5,272百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

販売促進ツール



施設運営事業

「くらすわ」

生活者の皆様のニーズや季節に応じた商品・料理メニューの充実にも努めるとともに、開業1周年イベントをはじめとした各種イベントを開催し、集客や地域への貢献に努めました。花火大会などにより観光客が多い夏季におきましては、諏訪湖畔にある「くらすわ」のロケーションを活かした観光客の取込みに注力いたしました。また、オリジナル商品の通信販売や小売店への卸売等、販売チャネルにつきましてはその拡充に努めました。

以上の結果、「くらすわ」の売上に駒ヶ根工場見学施設「養命酒健康の森」の売上が合算いたしまして、施設運営事業の売上高は197百万円（前年同期比10.0%増）となりました。

その他

不動産賃貸事業の売上高は、本店ビルのテナント賃貸収入などにより、67百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

株主の皆様へメッセージ

当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、引き続き、「養命酒」をはじめ、前中期経営計画において基盤を構築した「ハーブの恵み」、「くらすわ」等の商品及び事業に経営資源を集中し、収益基盤の維持、確保に重点的に取り組んでまいります。

今後もお客様の満足と信頼を一番に考え、健康生活に貢献できるよう、「養命酒」をコアとした、高い安心と社会に求められる有用な商品やサービスの提供に努め、コーポレート・ガバナンス及びコンプライアンス体制の更なる強化を図るとともに企業の社会的責任を果たし、株主各位のご期待にお応えする所存であります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

トピックス

「ハーブの恵み」

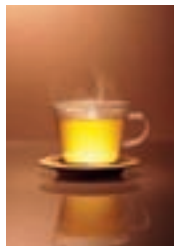
「ハーブの恵み」は、自然の恵みを心と体に巡らせて楽しむ全く新しいコンセプトのお酒です。

“自然派”なライフスタイルに

健康や美しさを、なるべく自然な食材で手に入れたいと願っている女性が増えています。「ハーブの恵み」は、中央アルプス・駒ヶ根高原の口当たりやわらかな水で仕込み、保存料・香料・着色料を使わずに仕上げました。自然の恵みを凝縮したその味わいは、日々のくつろぎの時間や友人同士の賑やかなひとときに、まさに最適なお酒といえるでしょう。飲み方も、ストレート、ロック、お湯割り、炭酸割りなど、お好みに合わせて、様々なアレンジでお楽しみいただけます。



「ハーブの恵み」
(リキュール)
アルコール13%
希望小売価格(税込)
1,000ml : 1,775円
700ml : 1,281円
200ml : 378円



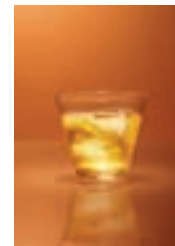
ナイトキャップに
「お湯割り」で



食前酒に
「ストレート」で



ホームパーティに
「ソーダ割り」で



お風呂上がりに
「ロック」で

ミニドリンク剤「ハーブプラスHerb+」新発売

平成23年9月7日より薬局・薬店及びドラッグストアにおいてミニドリンク剤「ハーブプラスHerb+」を新発売いたしました。



「ハーブプラスHerb+」
(指定医薬部外品)
希望小売価格(税込)
50mL : 399円

◇製品特長

- ・生薬特有の辛味や苦さを抑えた飲みやすく、さわやかな^{かんきつ}柑橘系の風味
- ・カフェインを配合していないので、カフェインが気になる方もお休み前や風邪の時にも服用できます
- ・6種のハーブ系生薬と4種のビタミン、タウリンを配合

「くらすわ」のイベント

「くらすわ」では、信州の自然、四季、伝統が育んだ音楽、アート、食に関する様々なイベントを開催し、観光のお客様はもとより、地域の皆様にも信州の素晴らしさを再発見していただける空間をご用意しております。お近くにお越しの折には、ぜひ一度お立ち寄りください。

※今後のイベントの開催、内容につきましては、「くらすわ」のホームページでご確認ください。

【平成23年4月～9月の開催イベント】

■「くらすわ」一周年 記念イベント

- Cycle&BeautyPLUS+@くらすわ
第2弾「美脚になるペダリング」
- 美と健康のためのウォーキング

- ユキエ Jazz Live at くらすわレストラン
- 長崎物産フェア
- 宮坂了作展
- 【父の日特別企画】「八幡屋儀五郎」の
七味調合販売
- 伊藤聡マリンバコンサート
- フラメンコディナーショー

4月



5月



6月



7月



8月



9月



- 信州中川村 物産フェア
- 岡谷絹工房&宮坂製糸 クラフト展
in くらすわ

- アルパとフルーツによる癒しのタベ
～くらすわサマーナイトコンサート
第1弾～
- 森からのおくりもの“樹・音(ジュネ)”
コンサート～くらすわサマーナイト
コンサート 第2弾～
- 第63回 諏訪湖祭湖上花火大会
くらすわ特別観覧席
- くらすわ夏のイベント
- 上諏訪温泉浴衣フェア

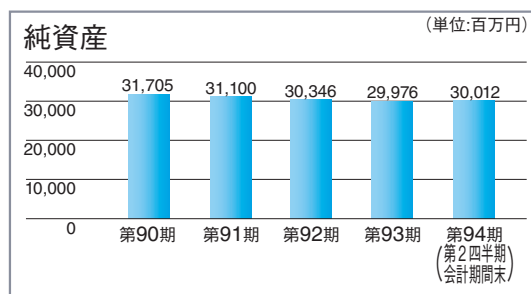
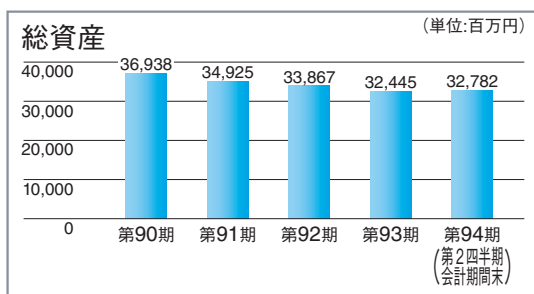
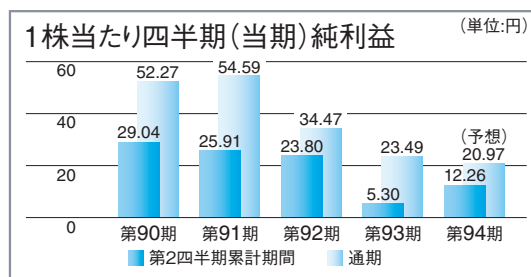
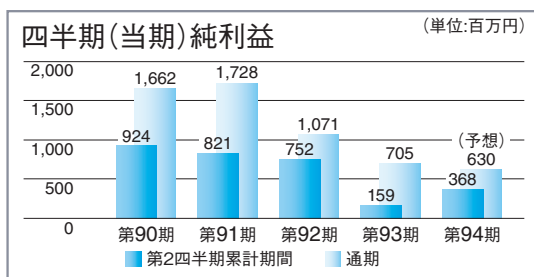
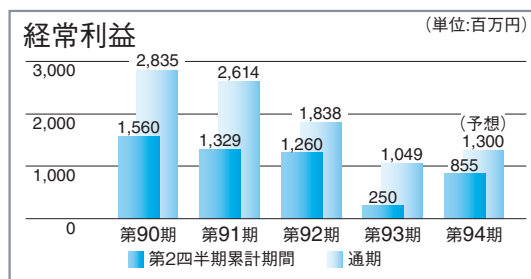
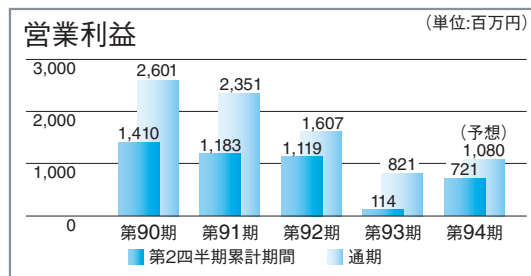
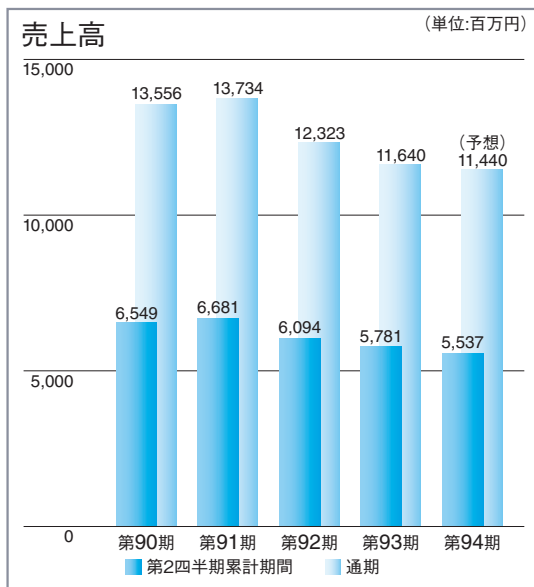
- a-more コンサート in くらすわ
- 森田和美 くらすわコンサート
～秋の夜長を彩る七色の笛の音～
- 第29回 全国新作花火競技大会
くらすわ特別観覧席
- 「八幡屋儀五郎」の七味調合販売



「くらすわ」
長野県諏訪市湖岸通り3丁目1-30
TEL 0266-52-9630 (代表)
0266-52-9640 (レストラン)
ホームページURL
<http://www.clasuwa.jp/>



財務ハイライト



財務諸表

四半期貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前事業年度	当第2四半期
	(平成23年3月31日)	会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産	7,685	8,320
固定資産	24,760	24,461
有形固定資産	7,333	7,087
無形固定資産	68	53
投資その他の資産	17,358	17,320
資産合計	32,445	32,782
負債の部		
流動負債	1,446	1,764
固定負債	1,022	1,005
負債合計	2,469	2,769
純資産の部		
株主資本	30,057	29,884
資本剰余金	1,650	1,650
利益剰余金	676	676
自己株	30,612	30,439
評価・換算差額等	△2,881	△2,882
その他有価証券評価差額金	△81	128
純資産合計	△81	128
負債純資産合計	29,976	30,012
	32,445	32,782

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

ポイント

【総資産】 前期末に比べて336百万円増加し、32,782百万円となりました。これは主に減価償却により有形固定資産が245百万円減少した一方で、売掛金が307百万円、余剰資金の短期運用により有価証券が397百万円増加したことによるものです。

【負債】 前期末に比べて300百万円増加し、2,769百万円となりました。これは主に未払法人税等が173百万円、流動負債のその他に含まれる未払費用が211百万円増加したことによるものです。

【純資産】 前期末に比べて35百万円増加し、30,012百万円となりました。これは主に四半期純利益を368百万円計上した一方で、配当金540百万円の支払いにより利益剰余金が172百万円減少したこと、その他有価証券評価差額金が209百万円増加したことによるものです。

四半期損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間
	平成22年4月1日から平成22年9月30日まで	平成23年4月1日から平成23年9月30日まで
売上高	5,781	5,537
売上原価	1,960	1,871
売上総利益	3,821	3,665
販売費及び一般管理費	3,706	2,943
営業利益	114	721
営業外収益	146	144
営業外費用	10	10
経常利益	250	855
特別損失	22	297
税引前四半期純利益	227	557
法人税、住民税及び事業税	49	193
法人税等調整額	19	△3
四半期純利益	159	368

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位:百万円)

科目	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間
	平成22年4月1日から平成22年9月30日まで	平成23年4月1日から平成23年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	218	826
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108	△115
財務活動によるキャッシュ・フロー	△538	△538
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△428	171
現金及び現金同等物の期首残高	3,174	2,829
現金及び現金同等物の期末残高	2,745	3,001

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】 営業活動の結果増加した資金は、826百万円(前年同期比278.5%増)となりました。これは主に税引前四半期純利益557百万円、減価償却費318百万円、売上債権の増加額307百万円、未払費用の増加額218百万円によるものです。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】 投資活動の結果減少した資金は、115百万円(前年同期比6.4%増)となりました。これは主に定期預金の預入による支出(預入と払戻の純額)100百万円、有形固定資産の取得による支出51百万円によるものです。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】 財務活動の結果減少した資金は538百万円(前年同期比0.1%増)となりました。これは主に配当金の支払いによるものです。

会社概要 (平成23年9月30日現在)

社 名 養命酒製造株式会社
YOMEISHU SEIZO CO., LTD.

本店所在地 〒150-8563
東京都渋谷区南平台町16番25号
電話 03-3462-8111
FAX 03-3462-8340
URL <http://www.yomeishu.co.jp/>

事業所 大阪支店、福岡支店、
駒ヶ根工場、中央研究所、
施設運営事業部（くらすわ）

設 立 大正12年(1923年)6月20日

資 本 金 16億5,000万円

上 場 東証市場第一部、名証市場第一部

事業内容 養命酒、酒類及び医薬品等の
製造・販売
飲食店及び売店の経営
不動産の賃貸

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

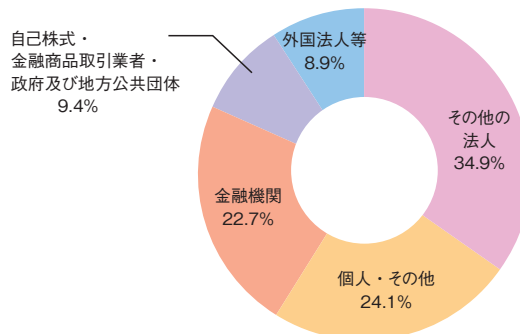
従業員数 268名

役 員	代表取締役会長	川村 昌平
	代表取締役社長	塩澤 太郎
	常務取締役執行役員	竹村 彰司
	常務取締役執行役員	小島 義久
	常務取締役執行役員	松澤 勝彦
	常務取締役執行役員	田中 英雄
	取締役執行役員	唐澤 久雄
	取締役執行役員	北園 芳種
	取締役執行役員	吉松 敬雄
	取締役執行役員	大森 勉
	常勤監査役	矢部與四男
	常勤監査役	中川 博之
	監査役	笠原 孟
	監査役	井出 正一
	執行役員	宮下 久宜
	執行役員	鹿養 貞人
	執行役員	神林 敬

■ 株式の状況 (平成23年9月30日現在)

発行可能株式総数	132,000,000株
発行済株式の総数	33,000,000株
株主数	3,203名

■ 所有者別株式分布状況 (平成23年9月30日現在)



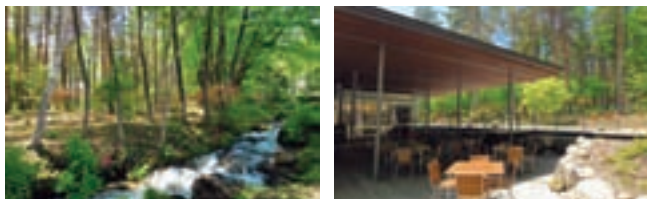
■ 上位10名の株主 (平成23年9月30日現在)

株 主 名	持株数 (千株)
大 正 製 薬 株 式 会 社	6,600
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	2,549
三 菱 U F J 信 託 銀 行 株 式 会 社	1,487
株 式 会 社 八 十 二 銀 行	1,300
ト ー ア 再 保 険 株 式 会 社	1,096
大 同 生 命 保 険 株 式 会 社	603
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	529
キ ッ コ ー マ ン 株 式 会 社	442
株 式 会 社 十 八 銀 行	423
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	423

(注) 当社は、自己株式を2,954千株保有しておりますが、上記上位10名の株主からは除外しております。

工場見学のご案内

「養命酒」や「ハーブの恵み」の製造工程や工場の自然の四季をハイビジョンで撮影した映画を大型スクリーンでご覧いただき、「養命酒」や「ハーブの恵み」の製造ラインをご案内いたします。



列車をご利用の場合

東京から

- 中央本線（特急あずさ）
岡谷駅でJR飯田線に乗換
駒ヶ根駅で下車。

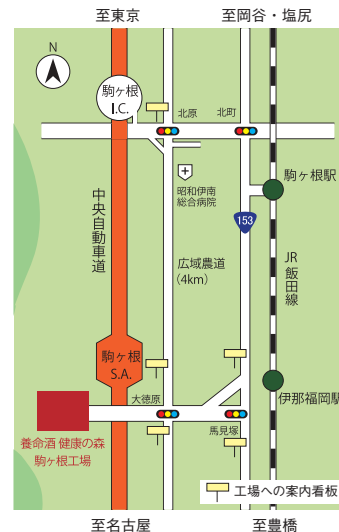
名古屋から

- 中央本線（特急）
塩尻駅で岡谷方面行きに
乗換
さらに岡谷駅でJR飯田線
駒ヶ根方面行きに乗換
駒ヶ根駅で下車。
駒ヶ根駅からタクシーで約
15分。

お車をご利用の場合

中央自動車道

- 駒ヶ根インターチェンジ
から車で約15分。
(案内看板があります)



お問い合わせ TEL 0265-82-3310

ホームページのご案内

当社ホームページにおいてIR情報をご覧いただけます。広く社会から信頼される企業となることを目指し、株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様への情報提供を充実してまいります。

トップページURL：

<http://www.yomeishu.co.jp/>

「企業・IR情報」URL：

<http://www.yomeishu.co.jp/company/>



トップページ



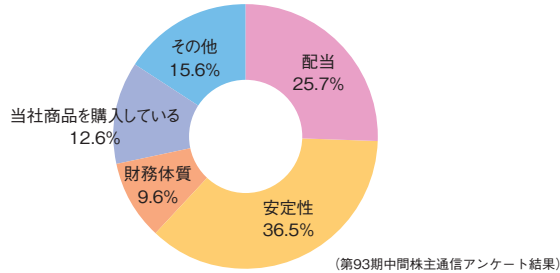
企業・IR情報ページ

養命酒製造株式会社 株式情報

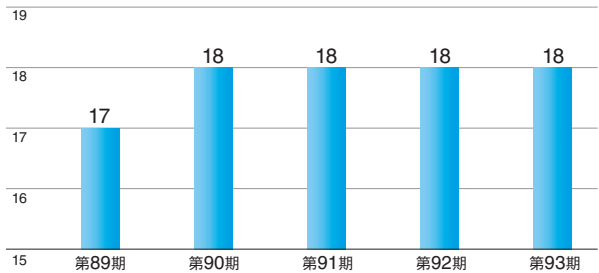
利益配分に関する基本方針

当社は、企業価値を向上させ、株主各位への安定的な配当を継続することを重要課題としており、配当で利益還元を図った後に、内部留保を行い、企業体質の強化を図っていきたくて考えております。内部留保資金につきましては、広い視野に立って設備投資、研究開発等に使用することといたしております。

当社株式の保有理由



1株当たり配当金の推移



株主メモ

証券コード	2540
一単元の株式数	1,000株
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
同総会基準日	毎年3月31日
配当金受領株主確定日	毎年3月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告掲載新聞	日本経済新聞

株式に関するお手続きについて

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取請求その他各種お手続き	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に当社株式が記録されている株主様 口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ります。 特別口座に当社株式が記録されている株主様 左記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ願います。
	未受領配当金のお支払い 三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。



養命酒製造株式会社

東京都渋谷区南平台町16番25号

TEL : 03-3462-8111 FAX : 03-3462-8340